

布施支店が特殊詐欺防止で感謝状拝受 ～「預手プラン」利用で警察と連携し、オレオレ詐欺を未然防止～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）では、全店あげて特殊詐欺被害の未然防止に積極的に取り組んでいます。

今般、「預手プラン」に基づく適切な対応によりオレオレ詐欺を未然に防いだとして、7月3日（火）に布施支店（東大阪市、支店長 畑中正嗣）の営業課職員が布施警察署長から感謝状を拝受しました。

なお、当金庫は、27年度に6店舗、28年度に2店舗、29年度に5店舗が警察署から感謝状をいただいております。今年度は、城東支店、東部市場支店、八尾西支店、東成支店、弥刀支店に続き6店舗目になります。

当金庫は、お客さまの大切なご預金をお守りするため、これからも声かけを励行するとともに、警察との連携を一層強化し、特殊詐欺被害の未然防止に努めてまいります。

記

1. 表彰事例

高齢の女性客から「息子が投資信託で600万円必要になったので、普通預金口座から600万円を現金で出金したい」との申し出があった。職員が疑問を感じて詳しく伺ったところ「実は、息子から『会社のお金を使いこんでしまったため、何とかしてほしい』と電話がかかってきた」とのこと。その後の聞き取りで、息子の携帯電話番号が変わった等、不審な点が見受けられたため、「預手プラン」に基づいて警察署へ通報し、詐欺を未然に防止した。



布施警察署長から感謝状を受ける布施支店職員

以上